



平成 19 年 10 月 12 日

各 位

株 式 会 社 ジ ク ト  
代表取締役社長 木 村 環  
(コード番号 9901 : JASDAQ)  
問合せ先 取 締 役 太田一義  
TEL (028) 625 - 0038

平成 20 年 2 月期中間期及び通期業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

平成 19 年 4 月 17 日に「平成 19 年 2 月期決算短信(連結)」、「平成 19 年 2 月期個別財務諸表の概要」で発表しました、当社の平成 20 年 2 月期中間期および通期業績予想を下記の通り修正するとともに特別損失についてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想

(1) 中間期業績予想数値の修正

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	11,824	603	464
今回修正予想(B)	10,949	720	993
増減額(B-A)	875	116	528
増減率	7.4%	19.2%	113.7%
前期実績(平成18年8月期)	9,220	172	8,465

(2) 通期業績予想数値の修正

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	24,180	1,432	1,575
今回修正予想(B)	22,265	1,433	1,506
増減額(B-A)	1,915	1	69
増減率	7.9%	0.0%	4.4%
前期実績(平成19年2月期)	16,943	113	8,479

## 2. 個別業績予想

### (1) 中間期業績予想数値の修正

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	11,696	532	393
今回修正予想 (B)	10,948	656	929
増減額 (B - A)	747	124	536
増減率	6.3%	23.3%	136.3%
前期実績(平成18年8月期)	9,122	246	8,743

### (2) 通期業績予想数値の修正

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	23,997	1,303	1,464
今回修正予想 (B)	22,264	1,310	1,389
増減額 (B - A)	1,733	6	75
増減率	7.2%	0.5%	5.1%
前期実績(平成19年2月期)	16,934	39	8,878

## 3. 連結業績予想修正の理由

### (1) 中間期業績予想の修正理由および特別損失の発生

当中間期の連結業績につきましては、7店の新規出店と不採算店11店の閉鎖を行うとともにコスト削減と効率化を実施し利益体質強化を図りました。売上高では居酒屋部門の既存店の客数が計画通り伸びなかったことおよび出店の遅れが2店舗あったことから計画に対して7.4%減となりました。

一方、経常利益では、売上は達成できなかったもののコスト削減と業務効率化により計画を達成し、計画に対して19.2%増となりました。

当期中間純利益では、当期中間の決算処理において特別損失271百万円を計上したものの、当中間期が堅調に推移し、通期の業績も順調であると予想されることから税効果会計による繰延税金資産計上を当中間期末で596百万円計上したため、中間純利益が当初予想を上回る見込みであります。

上記特別損失の内訳は以下のとおりです。

減損損失	179百万円
固定資産除却損	40百万円
貸倒引当金繰入額	15百万円
閉店損失引当金繰入額	14百万円
投資有価証券評価損	13百万円

その他特別損失	<u>7百万円</u>
特別損失合計	<u>271百万円</u>

7店舗の固定資産およびリース資産の減損損失 179 百万円、17 店舗の店舗設備の除却損 40 百万円、長期未収入金に対する貸倒引当金繰入額 15 百万円、当中間期以降に閉店を予定する 5 店舗の退店費用について閉店損失引当金繰入額 14 百万円、投資有価証券のうち下落の著しい銘柄について投資有価証券評価損 13 百万円、当中間期以降に発生する取引解約違約金 4 百万円および閉鎖店舗の商品売却差額金 3 百万円についてその他特別損失 7 百万円を計上しました。

#### ( 2 ) 通期業績予想修正の理由

通期の売上高、利益見通しにつきましては、中間期の進捗状況に加え、中間期に減損損失等の特別損失 271 百万円を計上したことから売上及び当期純利益について計画を修正するものです。

#### 4 . 個別業績予想修正の理由

##### ( 1 ) 中間期業績予想修正理由および特別損失の発生

連結業績予想修正理由と同様の理由により売上高では計画に対して 6.3%減となりましたが経常利益では計画を達成し 23.3%増となりました。当期中間純利益では特別損失 277 百万円を計上したものの税効果会計による繰延税金資産計上を当中間期末で 594 百万円計上したため、中間純利益が当初予想を上回る見込みです。

上記特別損失の内訳は以下のとおりです、

減損損失	184 百万円
固定資産除却損	42 百万円
貸倒引当金繰入額	15 百万円
閉店損失引当金繰入額	14 百万円
投資有価証券評価損	13 百万円
その他特別損失	<u>7 百万円</u>
特別損失合計	<u>277 百万円</u>

7店舗の固定資産およびリース資産の減損損失 184 百万円、17 店舗の店舗設備の除却損 42 百万円、長期未収入金に対する貸倒引当金繰入額 15 百万円、当中間期以降に閉店を予定する 5 店舗の退店費用について閉店損失引当金繰入額 14 百万円、投資有価証券のうち下落の著しい銘柄について投資有価証券評価損 13 百万円、当中間期以降に発生する取引解約違約金 4 百万円および閉鎖店舗の商品売却差額金 3 百万円についてその他特別損失 7 百万円を計上しました。

#### ( 2 ) 通期業績予想修正の理由

通期の売上高、利益見通しにつきましては、中間期の進捗状況に加え、中間期に減損損失等の特別損失 277 百万円を計上したことから売上及び当期純利益について計画を修正するものです。

以上